

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	CG1(CG1)	授業コード	C162451
担当教員名	足立 元、坪倉 篤志	科目ナンバリングコード	
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	CG基礎を受講後、履修することが望ましい科目です。 この授業で学ぶトレーニングはごく一部です。内容の理解を深めるために、授業以外でもさまざまなトレーニングに挑戦してください。		
受講心得	この科目は学生が次の目標を達成することをめざしています。授業時はもちろん、課外の予習復習(自習)を通して、これらの目標が達成できるように学習を進めてください。 ・図形の生成と加工に関する基礎技術を理解する。 ・コンピュータを用いた図形表現に関する基本概念を理解する。		
教科書	資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	デジタル色彩表現 南雲 治嘉 著 グラフィック社 CG入門 河口 洋一郎 監修 丸善 コンプリート3DCG アイザック・ピクター・カーロウ、渡部晃久、MdN 3DCG メタセコイア入門 横枕、伊藤、むつき、オーム社 メタセコイアマスターガイド 田崎・kyk BNN		
関連科目	CG基礎、CG2、CG3 デッサン1、デッサン2、造形1、造形2、造形3、造形4、CAD1、CAD2、映像2、Webデザイン基礎、Webデザイン		

授業の目的	この科目の目的は、図形の生成と加工に関する基礎技術、コンピュータを用いた図形表現に関する基本概念を習得することにあります。具体的には、(1)CGの生成と加工に関する基本概念を、表現という立場からコンピュータを用いた演習を通して学びます。(2)グラフィックソフトを用いて形と色についてのトレーニングを行い、コンピュータを用いたビジュアルデザインの基礎を学びます。
授業の概要	1. デジタルイメージを用いるための色彩トレーニングを通して、色彩への理解を深め、表現力を養います。主にイラストレータを用いてデジタルデザインの基本を学びます。 2. 3DCGの基本概念を学習し、課題制作を通して造形力と表現力を養います。メタセコイアを用いてモデリングの基本と応用、マテリアルの基本概念を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： ○第1回 CG制作における基本概念、ワイヤーフレーム、サーフェスモデル、ソリッドモデルなど、モデリングを行う際に必要な基礎知識を学習します。	第1回 「ゆきだるま」の作成
第2週： ○第2回 モデリング(1) ポリゴンモデリングについて課題制作を通して理解します。スキル(分割、押し出し)	第2回 「手」の作成
第3週： ○第3回 モデリング(2) ポリゴンモデリングについて課題制作を通して理解します。スキル(基本図形の応用、拡大/縮小)	第3回 「けーたいでんわ」のデザイン
第4週： ○第4回 モデリング(3) ポリゴンモデリングについて課題制作を通して理解します。スキル(スイープ(回転体)、面の生成)	第4回 「花瓶、湯呑」のデザイン
第5週： ○第5回 モデリング(4) ポリゴンモデリングについて課題制作を通して理解します。スキル(マッピング、頂点と面の調整)	第5回 キャラクターのデザイン

第6週： ○第6回 課題作品の制作「目覚まし時計」これまで習得したモデリングスキルを総合的に用いて課題作品を制作します。前半のまとめの課題なのでキー課題と呼び、重要な課題と位置付けます。		第6回 キー課題「目覚まし時計」のデザイン
第7週： ○第7回 WEB展覧会。「目覚まし時計」のWEB展覧会を行います。		第7回 WEB展覧会「目覚まし時計」
第8週： ○第8回 色彩トレーニング カラーチャートの作成を行います。このチャートは今後の課題の基本になります。		第8回 カラーチャートの作成
第9週： ○第9回 色彩トレーニング課題1 課題の制作を通して、テーマに沿った配色の技法を学びます。		第9回 色彩トレーニング課題1
第10週： ○第10回 色彩トレーニング課題2 課題の制作を通して、テーマに沿った配色の技法を学びます。		第10回 色彩トレーニング課題2
第11週： ○第11回 地図の作成 地図の作成を通してグラフィック・デザインの基本を学びます。		第11回 地図の作成
第12週： ○第12回 チラシの作成 チラシの作成を通してグリッドシステムについて学びます。		第12回 チラシの作成
第13週： ○第13回 カレンダーの作成1 色彩トレーニングのキー課題としてカレンダーの作成に取り組みます。		第13回 カレンダーの作成
第14週： ○第14回 カレンダーの作成2 色彩トレーニングのキー課題としてカレンダーの作成に取り組みます。		第14回 カレンダーの作成
第15週： ○第15回 WEB展覧会。カレンダー作品のWEB展覧会を行います。		第15回 WEB展覧会
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	表現という立場からCGの生成と加工に関する基礎概念を身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	グラフィックソフトを用いて形と色についてのトレーニングを行い、コンピュータを用いたビジュアルデザインの基礎を身につける。

【思考・判断・創造】	
-------------------	--

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		50点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		50点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

(「人間力」について)

※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	